2018年度水俣フォーラム 事業報告

2018 年度は昨年度以前から引き続く「水俣病 60 年事業」の1つとして、4 月に水俣病講演録『水俣から』『水俣へ』を、岩波書店から刊行することができた。新聞の書評欄等でいくつもとりあげられるなど話題になり、現在でも販売が続けられている。2 月の石牟礼道子さんの逝去をうけて、予定していた第 17 回水俣病記念講演会を「石牟礼道子さんを送る」にかえて開催した。急きょ用意した別会場も含めほぼ満員となり、石牟礼さんの存在の大きさをあらためて感じさせられた。水俣セミナーも、石牟礼道子追悼シリーズとして 10 月から 3 回にわたって開催し、多くの参加者があった。「水俣への旅」は石牟礼さんゆかりの地をたずねる企画内容とし、通常の 3 泊 4 日に加え、要望が多かった 2 度目の参加者対象の 2 泊 3 日のツアーも催行したが、それぞれ定員いっぱいの参加があり、参加者からも好評であった。「水俣フォーラムNEWS」を約 2 年ぶりに発行し、熊本での水俣病展 2017 など、この 2 年あまりの活動を報告することができた。福岡展の 2020 年度開催が決定し、ともに主催するグリーンコープと準備を始めている。また、その後の首都圏での水俣展の開催に向けての会場調査も進めている。引き続き会員・協力者の力を得ながら、来年度の活動に臨みたい。

１. 水俣病公式確認６０年記念事業

①水俣病講演録『水俣から』『水俣へ』の刊行（4 月 12 日、岩波書店、各 3000 部）
②水俣展全図録の編集（2019 年完成予定）
③水俣病図書目録の販売・頒布（2017 年 3 月 1000 部刊行、18 年度末在庫 367 冊）
④展示物のリニューアルと新規制作（2019 年完成予定）

２. 水俣展

①福岡展の開催準備（2020 年 12 月～ 2021 年 1 月、福岡アジア美術館）
②首都圏展の開催準備（2021 年または 2022 年の会場調査）

３. 講演会開催

①「石牟礼道子さんを送る」（4 月 15 日、有楽町マリオン、参加者1030名）
②水俣セミナー・石牟礼道子追悼シリーズ　3回開催、常円寺
　10月 9日：伊藤比呂美「石牟礼さんとわたし」125名参加
　11月14日：米本浩二「道子さんの創造と闘争」114名参加
　12月12日：実川悠太「花を手向けられたのは誰か」81名参加

４. 水俣病大学

①第 3 期準備（2019 年 5 月～ 7 月、明治大学、30 コマ、開講準備）

５. 機関誌発行

①水俣フォーラムNEWS　1 回発行、3 月 18 日、3,900 部

６. その他の事業

①水俣への旅の催行

11月8～11日：「第16回水俣への旅」　参加者27名　引率者：服部、補助：郡山

11月9～11日：「2度めの水俣への旅」　参加者26名　引率者：実川、補助：渡辺・吉家

７. 総会・理事会・運営委員会

①総会　　6 月 9 日、出席者 20 人、表決委任者 444 人（正会員 830 人）

②理事会・運営委員会　　理事会 1 回、合同運営委員会 7 回、出席率 79 ％

８. 事務所機能向上のための取り組み・運営基盤整備

①認定 NPO 法人の更新を申請（前回認定の有効期間が 2019 年 5 月で切れるため）

９. １８年度助成、補助金、表彰

①継続・新規とも今年度はなし